

## 自転車競技における受傷者の特徴 —自転車ロードレースとマウンテンバイクでの比較—

奈良県立医科大学 整形外科学教室 整形外科  
磯本慎二, 熊井 司, 笠次良爾, 河原郁生, 土肥義浩, 田中康仁, 高倉義典

【はじめに】我々はこれまでに自転車ロードレース（ロード）およびマウンテンバイクレース（MTB）において、年齢や競技経験による受傷率の違いを調査してきた。今回、それぞれの競技における受傷者の特徴を比較検討した。

【対象および方法】対象は2004、5年に開催された第21、22回シマノ鈴鹿ロード（ロード）の参加者8232人ならびに第14、15回シマノバイカーズフェスティバル（MTB）の参加者2619人である。事前参加申込者に任意回答によるアンケートを行った。比較項目は年齢、性別、年間レース参加回数、年間走行距離そしてレース歴の5項目であった。大会当日は救護所受診者に対し、同様のアンケートを実施した。2つのアンケートの結果から各項目において、受傷者/参加者を計算し、受傷率とした。

【結果】年齢別受傷率はロードにおいて12～14歳と45～49歳に多かったがMTBでは20歳代に多かった。ロードでは男性の受傷率が高かったがMTBでは男女に有意差はなかった。年間レース参加回数および年間走行距離は、ロードでは多いほど受傷率が高い傾向にあったが、MTBでは中程度の選手の受傷が多かった。レース歴はいずれの競技においても長いほど受傷率が高い傾向であった。

【考察】ロードは集団で密集して走行し、MTBは集団にならずに走行するというレース中の走り方の違いがある。このため受傷機転も異なり、受傷者の特徴も異なると考えられた。